



Dell Technologies



Dell NativeEdge

シンプル化：成果を加速し、運用を一元化

Copyright © 2024–2025 Dell Inc.

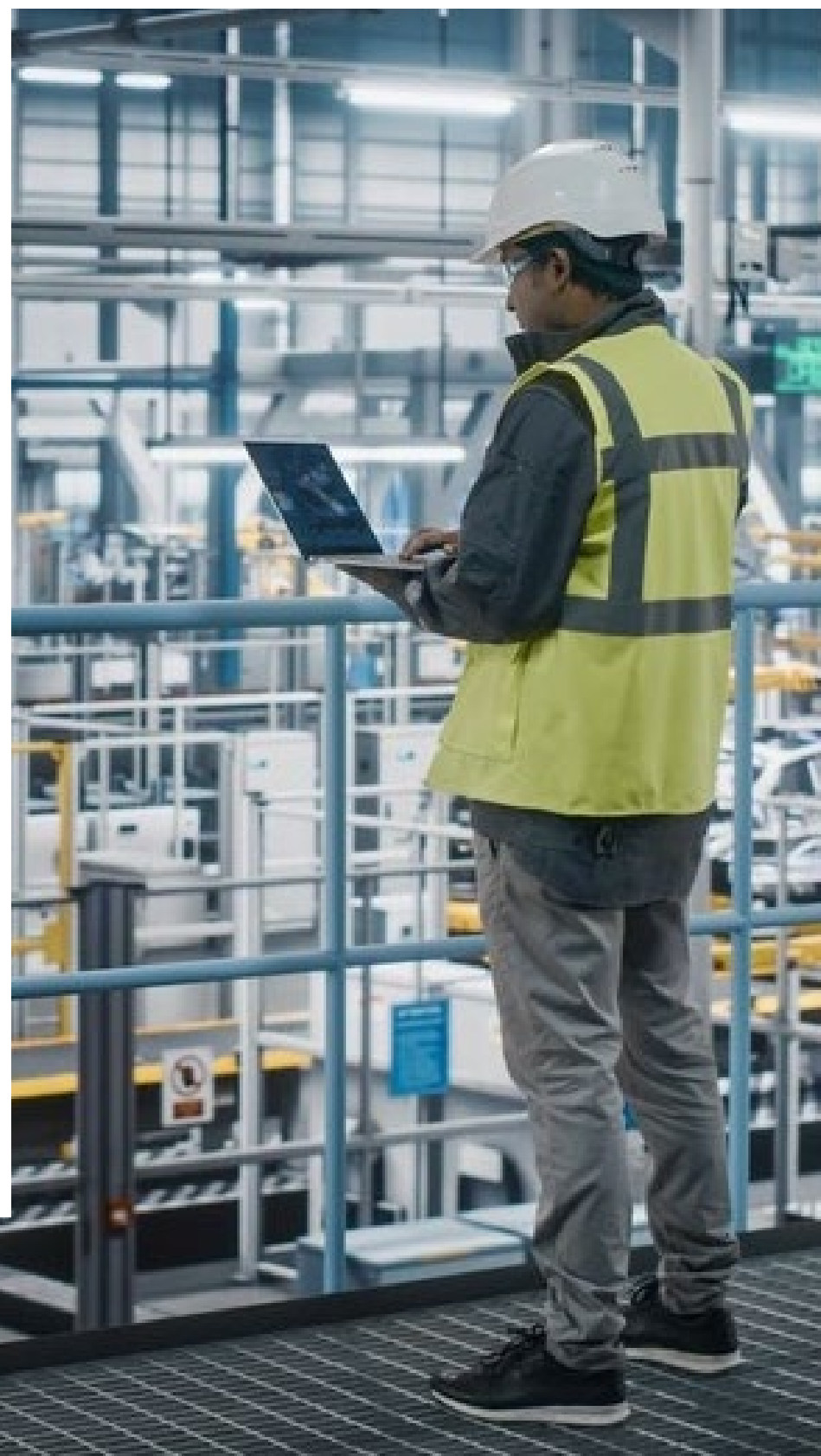
表 目次

エッジコンピューティングと分散型データセンターがもたらす固有の課題.....	03
Dell NativeEdgeの導入.....	06
フルスタックソリューションのメリット.....	07
一元管理とオーケストレーション.....	10
ゼロタッチ導入.....	11
一貫性のある自動化された運用.....	12

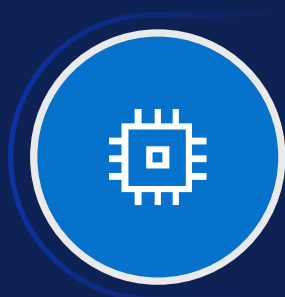
エッジコンピューティングと分散型データセンターがもたらす固有の課題

組織が成功を収めるには、急速に変化する顧客の好みや市場の状況に迅速に対応し、競争力を維持する必要があります。この必須事項により、分散環境全体にわたるAIとリアルタイムのインサイトが、ビジネス上の成果に不可欠なものとなっています。AIの需要を満たすためにコンピューティングが複数の場所に拡大するにつれて、これらの分散環境を維持するために必要なハードウェアとソフトウェアの管理の複雑さも増えています。適切なインフラストラクチャを調達し、迅速にオンボードし、複数の場所にワークロードを導入し、エッジまたは分散型データセンター環境でさまざまなAIアプリケーションと機能の継続的なパフォーマンスを確保するには、時間がかかります。

エネルギーや製造などの業界は地理的に分散しているため、多くの場合、企業はインフラストラクチャとアプリケーションのインストールと管理をサードパーティーのサービスプロバイダーに依存しています。これらの環境は大抵の場合、インストール、構成、管理が複雑でコストがかかります。大企業では、コンピュータービジョンやデジタルツインなどのユースケースを通じて明らかになる運用の複雑さによって、業界を問わず共通の課題に直面しています。自動化を活用して一元管理を行うことで、企業は分散した運用から繰り返しを排除し、エラーを削減できます。



分散環境全体にわたる運用の拡張は困難で複雑なものになります。



エッジと分散データセンターにわたる、ハードウェアとソフトウェアの構成



多数のハイタッチ アプリケーション/ワークロードの管理



地理的に分散したアプリケーションの運用



分散した場所全体でのマルチクラウド アプリケーション/ワークロードの導入



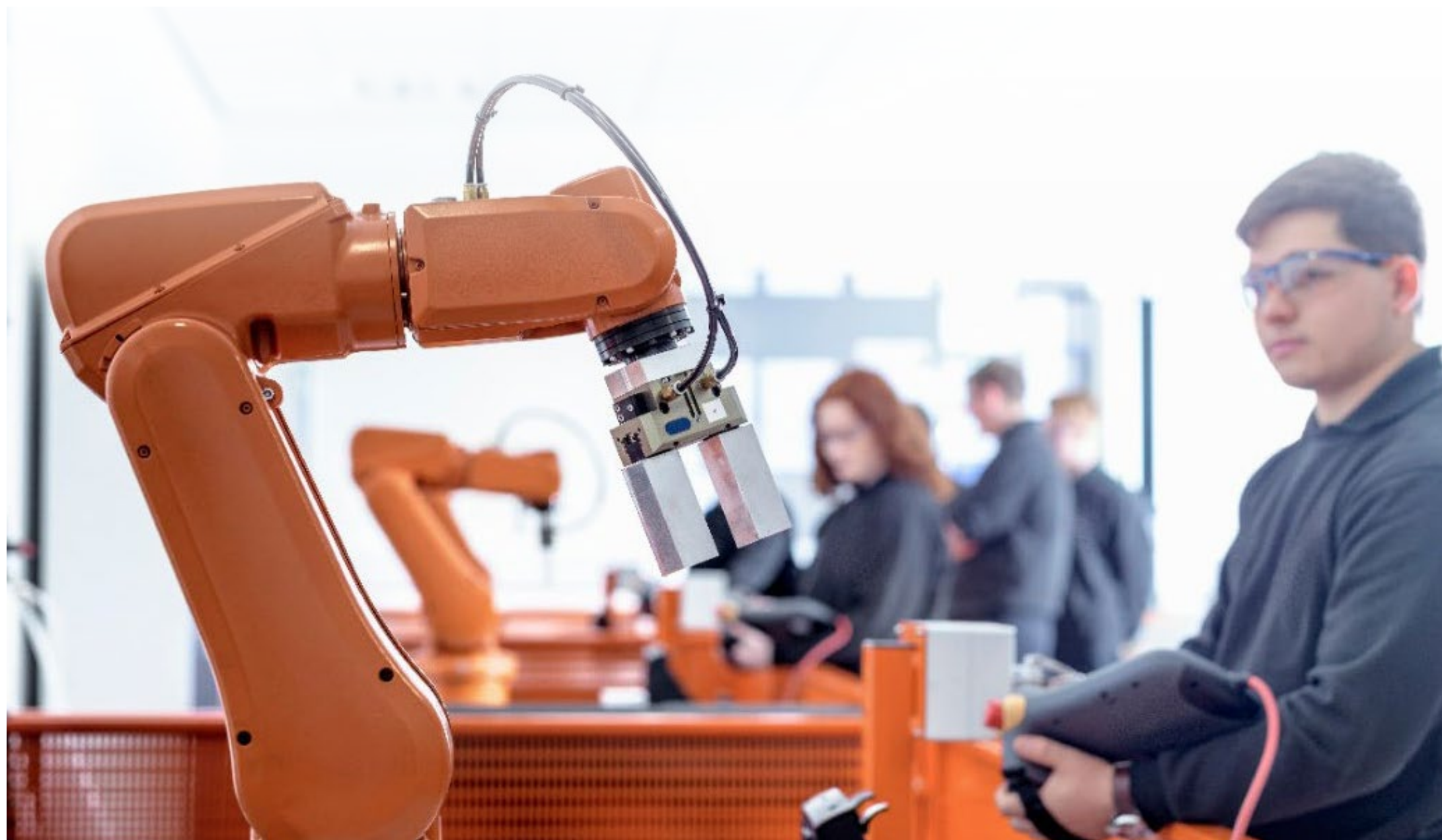
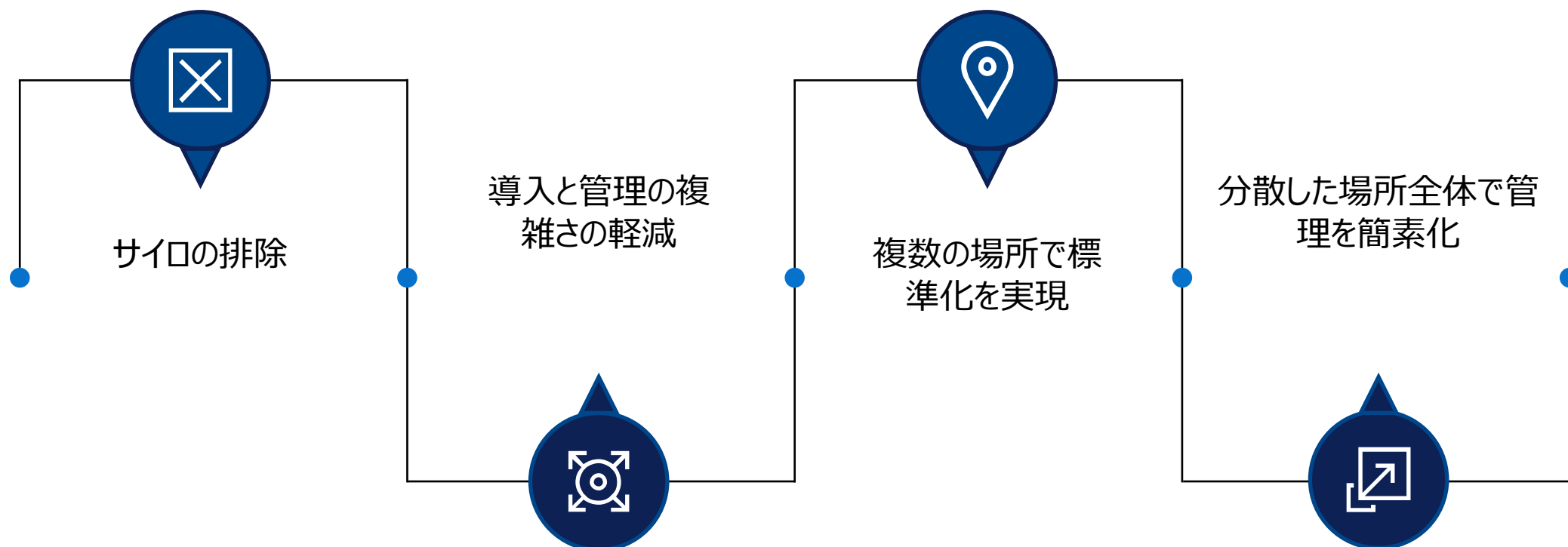
サイロ化し無秩序に増加したソリューションの整理



柔軟性に欠けるレガシーOTと閉鎖的なエコシステムの調整

分散環境の課題の解決

大規模な導入と運用を合理化するために、企業は次のことを行う必要があります。



Dell NativeEdge

あらゆる場所でイノベーションを実現

エッジと分散型データセンター全体における多様なインフラストラクチャとアプリケーションの導入、オーケストレーション、ライフサイクル管理を、セキュリティを維持しながら一元化する、エンドツーエンドのフルスタックソリューションです。

ゼロタッチ オンボーディング、ゼロトラスト セキュリティ、高度なワークロード オーケストレーションなどの機能により、エッジおよび分散型データセンター環境をシンプル化、最適化し、保護します。NativeEdgeは、KVMハイパーバイザーとコンテナのランタイムを活用して、組織が仮想マシン(VM)とコンテナの両方を導入および管理できるようにします。AIワークロードとフレームワークのオーケストレーションを行うよう最適化されており、AI主導型アプリケーションの導入と管理が、エッジおよび分散型データセンター全体でシームレスに行えるようになります。また、NativeEdgeはどのようなハードウェア環境にも適応でき、Dell PowerEdgeサーバーからデスクトップやサードパーティーインフラストラクチャまで、さまざまなフォーム ファクターで幅広いオプションをサポートします。

Dell NativeEdgeは、運用の複雑さ、拡張性、セキュリティなど、分散環境固有の課題に対処するように設計されています。エッジ コンピューティングのパワーを活用しながらコストを削減し、効率性を向上させることに重点を置いた、現代の組織向けにカスタマイズされたソリューションです。



シンプル化

成果を加速し、
運用を一元化

1分

未満でインフラストラクチャと
アプリケーションを導入可能¹



最適化

シームレスな仮想化と
拡張性のあるAIを構築

エッジアプリケーションオーケストレーションの自動化で時間を最大

68%
短縮¹



保護

ゼロトラスト セキュリティで
安心の運用

世界で

最も安全な
エッジ運用²

¹ Enterprise Strategy Group by TechTarget Technical Validation (デル・テクノロジーズより委託) 『Dell NativeEdge - Edge Operations Software Platform』 (2025年2月)。

² デル・テクノロジーズの社内分析 (2025年5月) に基づきます。

Dell.com/NativeEdge



企業はどのようにしてフルスタックのソリューションからメリットを得ることができますか？

Dell NativeEdgeは、Dell PowerEdgeおよびクライアント デバイスと統合されていると同時に、Dell製以外のハードウェアとの互換性も提供します。この柔軟性により、場所を問わず、アプリケーションとインフラストラクチャの安全な管理とオーケストレーションが可能になります。NativeEdgeは、既存のエッジ環境、または分散したデータセンターに導入された場合でも、組織がさまざまなエッジロケーション、データセンター、クラウドなどのインフラストラクチャとアプリケーションのライフサイクル全体を効率的に管理できるようにします。

Dell NativeEdgeを使用すると、企業は拡大するポートフォリオ分散アプリケーションをシンプルにして拡張できます。NativeEdgeでは、KVMハイパーバイザーとコンテナのランタイムを活用して、仮想マシンとコンテナベースのワークロードの両方をシームレスに導入し、オーケストレーションできます。

NativeEdgeを使用すると、企業は分散した場所全体でAIワークロードとアプリケーションのライフサイクル全体を効率的に管理でき、既存の導入パイプラインとシームレスに統合できます。また、NativeEdgeは、NativeEdgeとの互換性を考慮して設計されたコンピューティング デバイスであるNativeEdgeエンドポイントにプリインストールされているNativeEdgeオペレーティング システムなどのインフラストラクチャに、ライフサイクル管理を拡張します。



運用の一元化



セキュリティの強化



あらゆる作業環境に順応



AI向けに最適化



コストの削減

大規模な運用をシンプル化

Dell NativeEdgeは、分散型アプリケーションとインフラストラクチャの管理に関する次のような複雑さに対処します。



一元管理とオーケストレーション



ゼロタッチ導入



一貫性のある自動化された運用



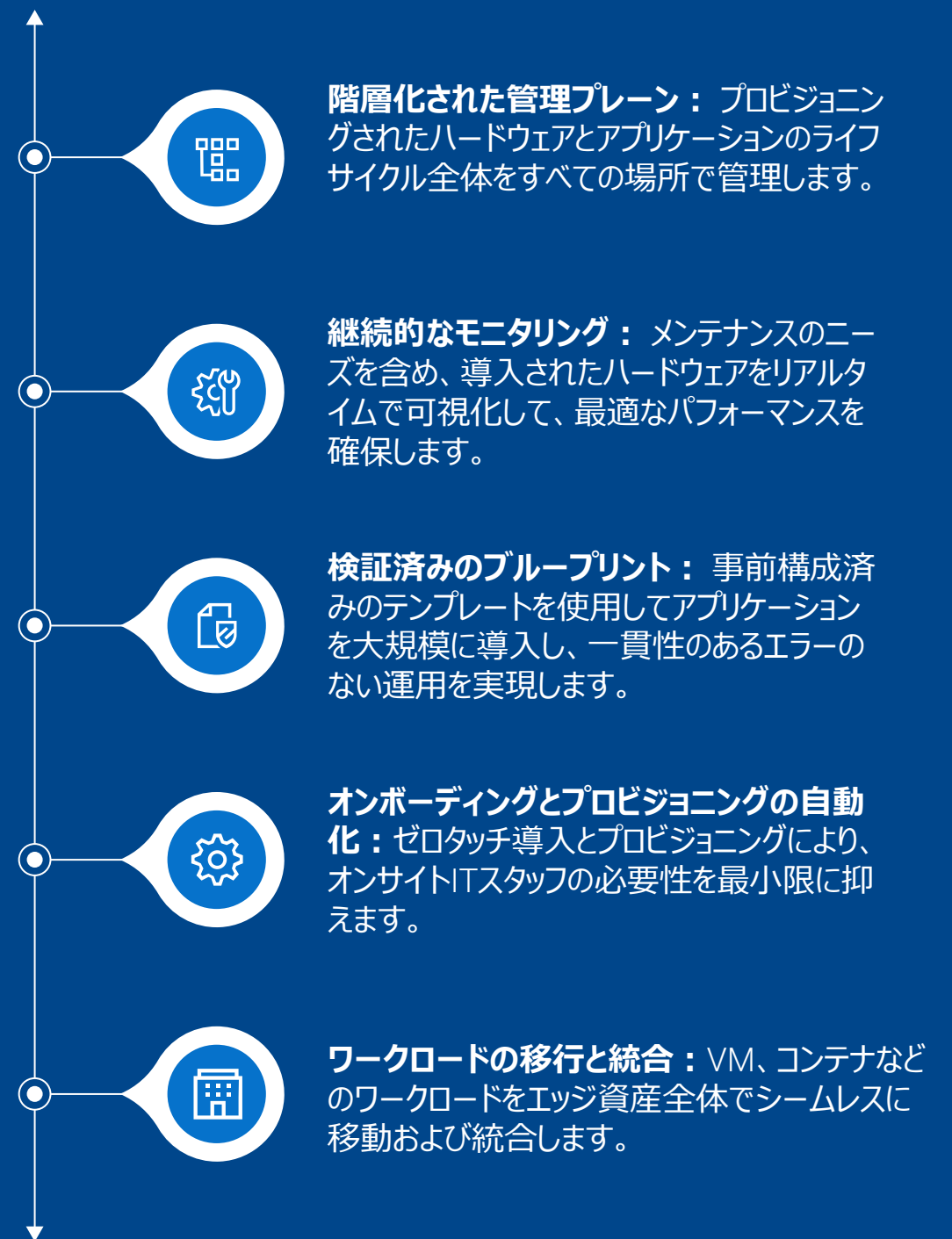


一元管理とオーケストレーション

AIアプリケーションを使用してスマートファクトリーの目標を達成するために取り組んでいるメーカーを想像してみてください。複数の地理的に分散した工場が、垂直統合ソリューションの導入と構成をサードパーティーベンダーに依存しているため、これらのアプリケーションを一元的に導入、管理、監視する方法がないと、運用が中断され、導入されたワークロードの可視性が一貫しなくなる可能性があります。

Dell NativeEdgeは、エッジと分散データセンターで実行されているハードウェアとアプリケーションを完全に可視化して制御する一元的なコントロールプレーンを提供して、この複雑さを解決します。企業は、サイトを個別に管理するのではなく、単一の統合インターフェイスを使用して運用を合理化し、最も複雑な環境をシンプルにすることができます。

一元化されたインターフェイスにより何が得られますか？





ゼロタッチ導入

Dell NativeEdgeは、分散サイト全体の導入を再定義します。NativeEdgeエンドポイントは、アプリケーションとワークロードに安全な運用環境を提供するコンピューティングデバイスで、シームレスで効率的な導入を可能にします。

NativeEdgeエンドポイントがエッジサイトまたはデータセンターに導入されると、オンボーディングが簡単になります。電源とネットワーキングを接続するだけで、プラットフォームは包括的な検証を自動的に実行してハードウェアの整合性を確認し、改ざんされていないことを証明します。ゼロトラストセキュリティが組み込まれており、IT部門の介入が不要なため、デバイスは一元化されたインターフェイスを介してワークロードの導入とリモート管理をすぐに行うことができます。

ゼロタッチ導入のプロセスとはどのようなものですか？

01

注文

事前構成済みのNativeEdgeエンドポイントを取得

02

インストール

ネットワークケーブルを接続して電源を投入

03

管理

NativeEdgeエンドポイントのライフサイクル管理をリモートで実施



一貫性のある自動化された運用

グローバルな拠点全体で一貫性のあるIT運用を維持することは、大きな課題となります。たとえば、小売業者は、在庫、POS、デジタルサイネージ、損失防止など、さまざまなシステムを管理する責任があります。これらのシステムは通常、複数のサービスプロバイダーによって処理され、それぞれに独自の更新サイクルと管理プロセスがあります。このような連携の欠如により、運用が断片化し、一元化されたIT管理に統合することが困難になります。その結果、小売業者は非効率性、イノベーションの遅れ、カスタマーエクスペリエンスの停滞に直面しています。

Dell NativeEdgeは、企業の運用の標準化と自動化を支援することで、これらの課題を解決します。NativeEdgeブループリントは、開発、テストから導入、モニタリングに至るまで、アプリケーションのライフサイクル全体をシンプルにします。これらの事前構成済みテンプレートにより、すべての場所でアプリケーションの導入と管理が一貫して行われ、エラーが排除され、運用が合理化されます。

NativeEdgeブループリントで自動化された運用を可能にするにはどうすればよいですか？



一貫性のある導入：AI、分析、IoTなど、新しくアップデートされたワークロードを標準化し、迅速に展開



ワークフローの自動化：事前構成済みのブループリントを使用してアプリケーション/ワークロードの導入を合理化

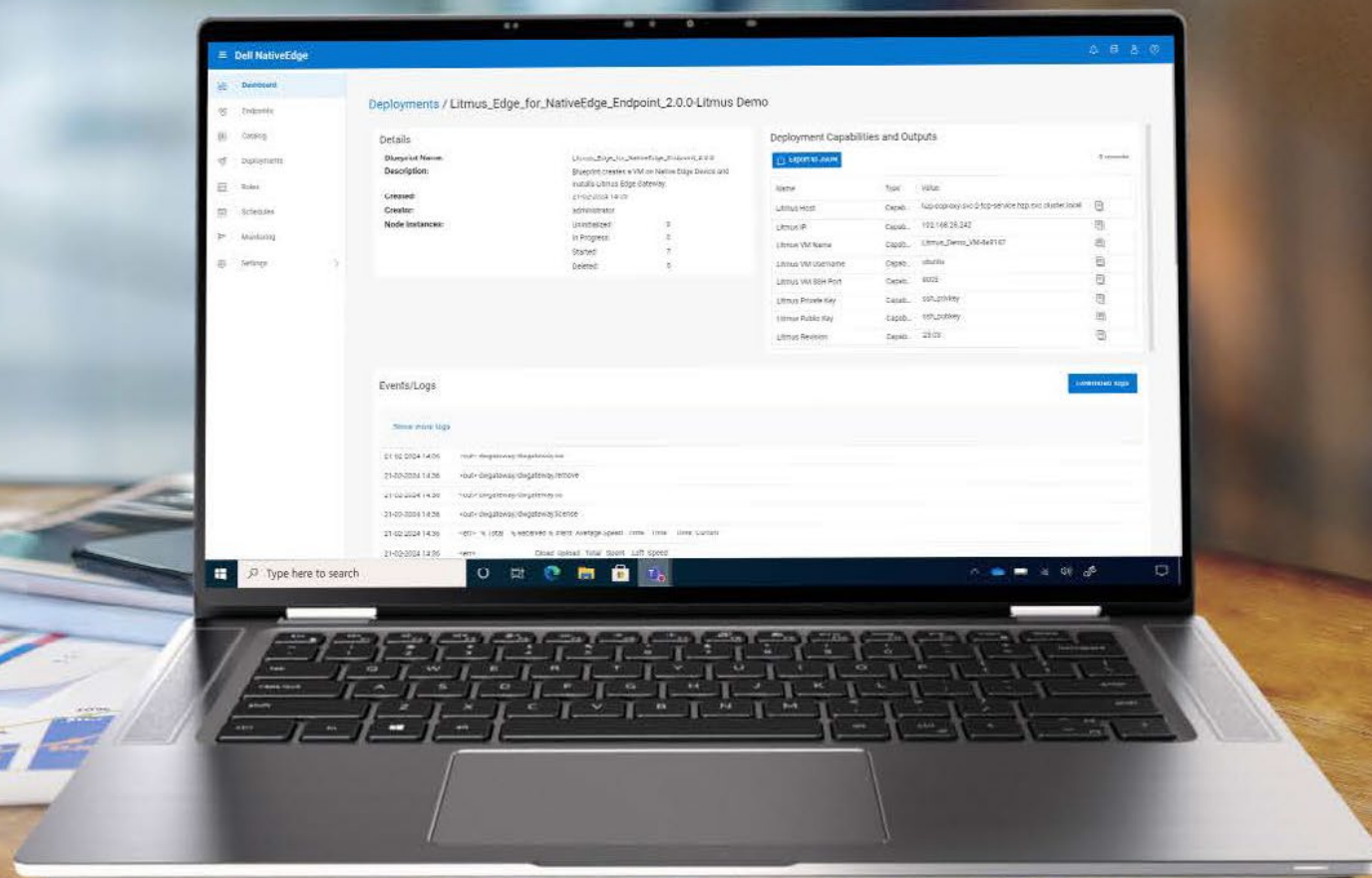
NativeEdgeブループリントでは、必要な基盤となるランタイムと、アプリケーションの構成と導入方法に関する詳細が説明されています。これにより、分散環境全体でのアプリケーションワークロードの導入がシンプルになります。



エッジ運用を大規模にシンプル化

Dell NativeEdgeを使用すると、サイロを排除し、複雑さを軽減し、標準化を実現して、分散環境全体でアプリケーションとハードウェアを管理できるようになります。

あらゆる場所でイノベーションを実現



DELL Technologies

詳細はこちら：Dell.com/NativeEdge

© 2024–2025 Dell Inc.またはその関連会社。All Rights Reserved. (不許複製・禁無断転載) Dell、EMC、およびDellまたはEMCが提供する製品およびサービスにかかる商標はDell Inc.またはその関連会社の商標または登録商標です。またはその関連会社の商標または登録商標です。Published in the USA 2025年1月。